



3 Windowsの セットアップ

起動監視機能の切り替え方法、初めて装置の電源をONにするときのセットアップ、Windowsのインストール手順、LANの二重化の設定、ディスクの二重化の設定などについて記載しています。

起動監視機能の切り替え ~BIOS設定の変更~

電源ONの確認とこの後のセットアップを正しく行うための設定をします。

本装置は、起動時に本体の監視をする機能を持っています(出荷時の設定で有効となっています)。

本装置の購入時にインストール済みのオペレーティングシステムをセットアップするときや再インストールをするときは監視機能を無効にしないとインストール済みのオペレーティングシステムのセットアップを失敗したり、再インストールが正しくできなかったりします。ここに記載されている手順を参照して正しく設定してください。



ここで説明する設定をしていないと、Windowsのセットアップ画面の表示中に強制的に再起動され、セットアップを正しくできません。強制再起動後にセットアップを不正に繰り返す場合があります。セットアップに失敗すると、はじめから再インストールし直さなければなりません(購入時にインストール済みのオペレーティングシステムは使用できなくなり、再インストールをしないと使用できません)。



BIOSセットアップユーティリティの操作やパラメータの詳細については、別冊のユーザーズガイドを参照してください。

1. ディスプレイ装置およびExpress5800/ftサーバに接続している周辺機器の電源をONにする。



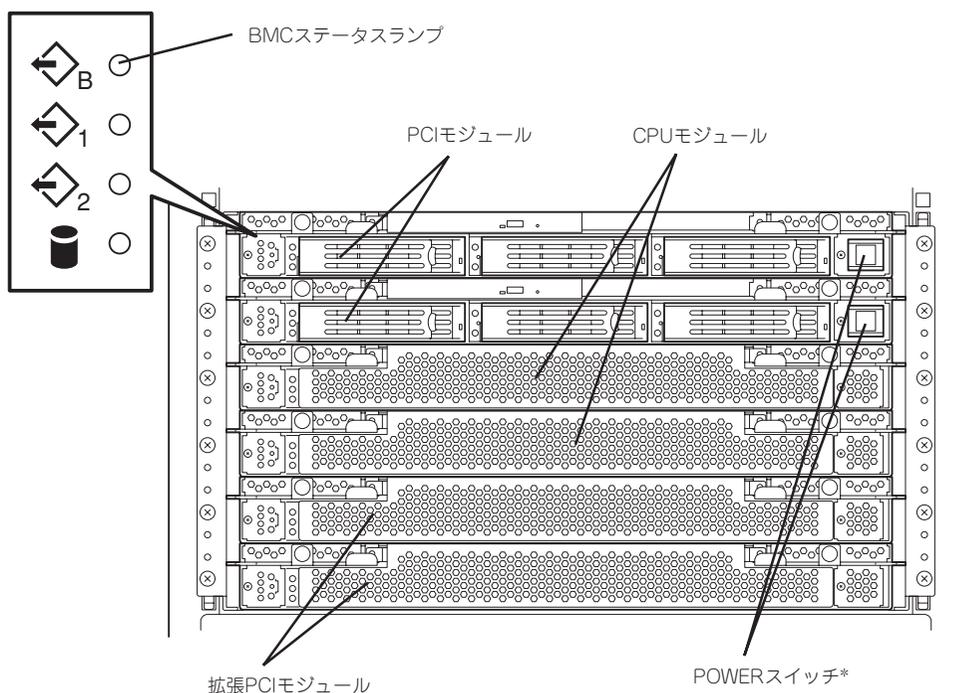
無停電電源装置(UPS)などの電源制御装置に電源コードを接続している場合は、電源制御装置の電源がONになっていることを確認してください。



Express5800/ftサーバのAC電源をONにすると、通電後、PCIモジュール間にてBMCの同期を行います。BMCの同期が完了すると、PCIモジュールのどちらか一方のPOWERランプが点灯します。

2. フロントベゼルを取り外す。

3. 両系のPCIモジュールのBMCステータスランプ(◀B)が消灯していることを確認し、Express5800/ftサーバ前面にある点灯している方のPOWERスイッチを押す。



* POWERスイッチはランプが点灯している方のみ使用できます。

🔑 重要

- 「NEC」ロゴが表示されるまでは電源をOFFにしないでください。
- 電源投入時は、両系のPCIモジュールのBMCステータスランプ(◀B)の消灯を確認後、Powerスイッチを押してください。

しばらくするとディスプレイ装置の画面には「NEC」ロゴが表示されます。

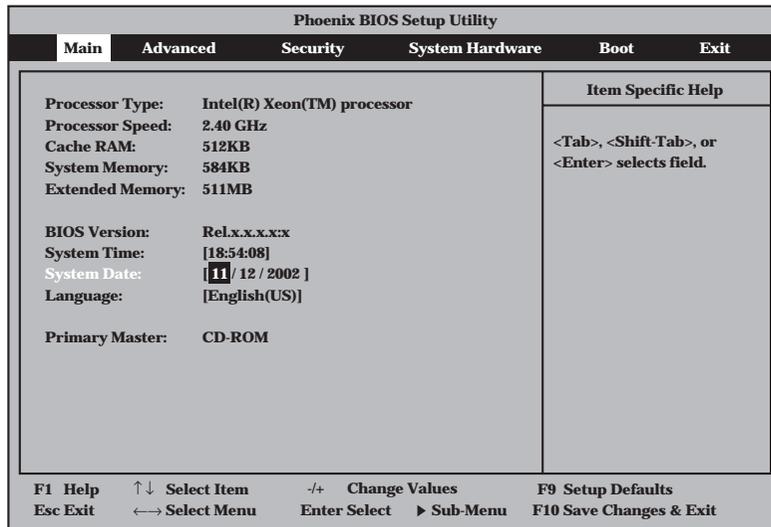
「NEC」ロゴを表示している間、Express5800/ftサーバは自己診断プログラム(POST)を実行してExpress5800/ftサーバ自身を診断しています。詳しくは別冊のユーザーズガイドをご覧ください。POSTを完了するとWindows 2000が起動します。

✓ チェック

POST中に異常が見つかったらPOSTを中断し、エラーメッセージを表示します。別冊のユーザーズガイドを参照してください。

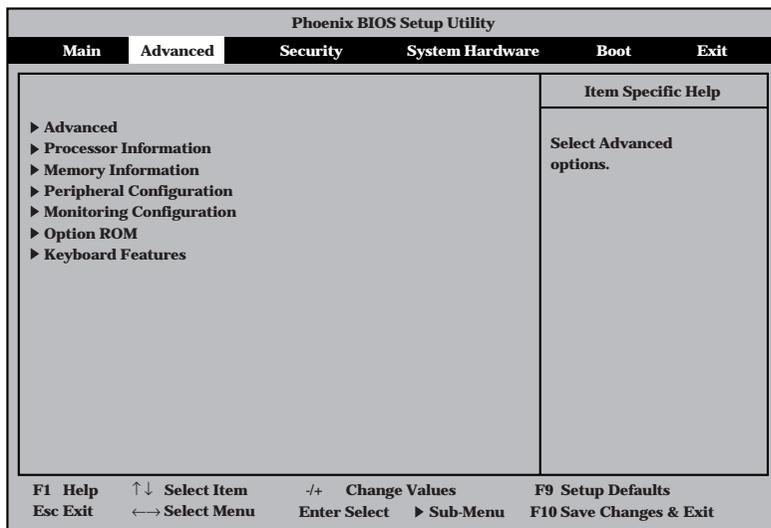
4. ディスプレイ装置の画面に「Press <F2> to enter SETUP」または「Press <F2> to enter SETUP or Press <F12> to Network」と表示されたら、<F2>キーを押す。

BIOSセットアップユーティリティ「SETUP」が起動し、画面にはMainメニューが表示されます。



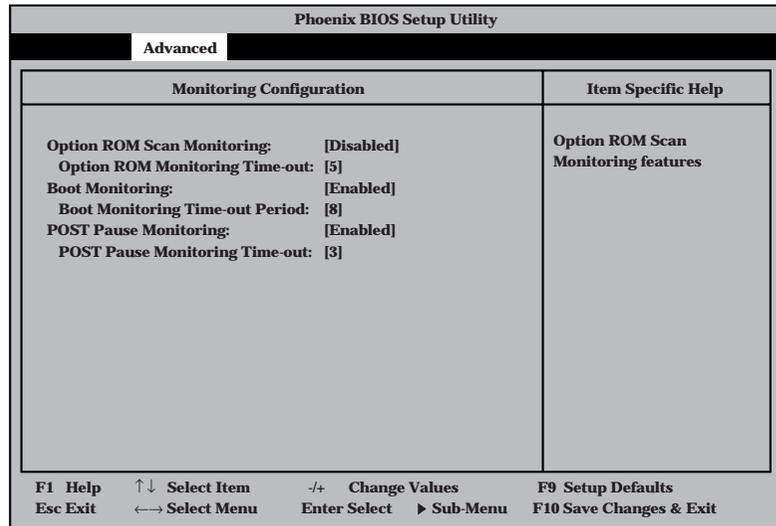
5. カーソルキー(<→>キーか<←>キー)を押して、「Advanced」を選択する。

Advancedメニューが表示されます。



- カーソルキー(<↑>キーか<↓>キー)を押して、「Monitoring Configuration」を選択し、<Enter>キーを押す。

Monitoring Configurationサブメニューが表示されます。

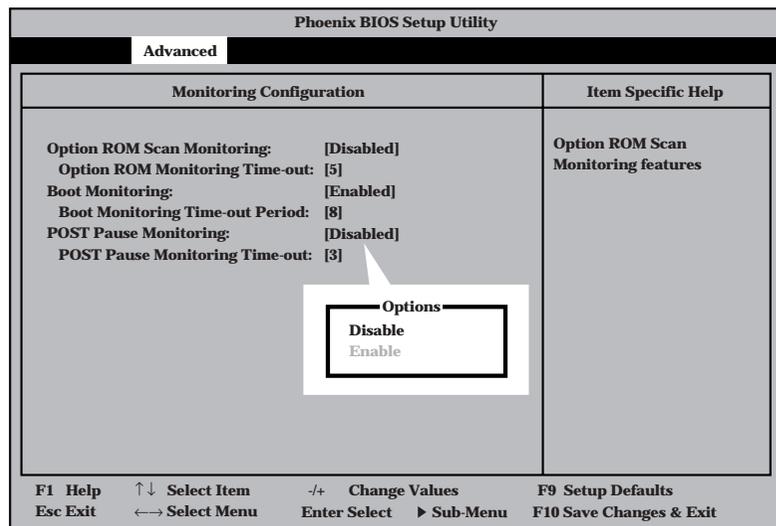


- カーソルキー(<↑>キーか<↓>キー)を押して、「Boot Monitoring」を選択し、<Enter>キーを押す。

パラメータが表示されます。

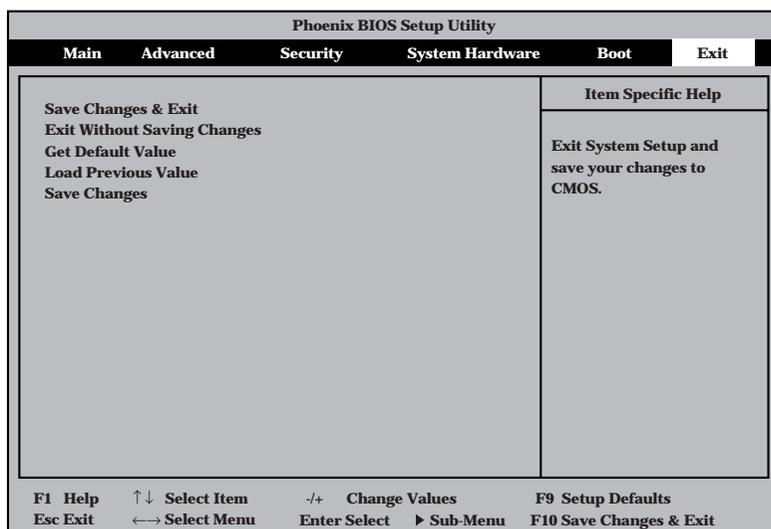
- パラメータから「Disable」を選択して<Enter>キーを押す。

Boot Monitoringの現在の設定表示が「Disabled」になります。



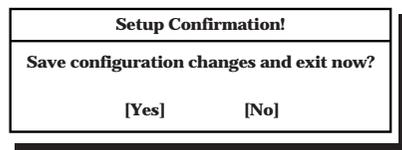
9. カーソルキー(←>キーか<=>キー)を押して、「Exit」を選択する。

Exitメニューが表示されます。



10. カーソルキー(<↑>キーか<↓>キー)を押して、「Save Changes & Exit」を選択し、<Enter>キーを押す。

確認画面が表示されます。



11. 「Yes」を選択して<Enter>キーを押す。

設定内容を保存してSETUPを終了後、再起動します。

以上で切り替えは完了です。



購入後、初めて電源をONにして設定を切り替えた場合は、再起動後にWindowsのセットアップ画面が表示されます。次ページの「初めて電源をONにする時のセットアップ」に進んでセットアップを続けます。
オペレーティングシステムの再インストールをする場合は、再インストールの準備のためにいったん本装置の電源をOFFにしてください。その後、3-9ページの「Windows Server 2003のインストール」に進んでセットアップを続けます。

初めて電源をONにするときのセットアップ

Express5800/ftサーバのハードディスクには、お客様がすぐに使えるようにパーティションの設定、ハードディスクの二重化(システムパーティションのみ)設定からOS、Express5800/ftサーバが提供するソフトウェアがすべてインストールされています。購入後、初めて電源をONにするときは、「起動監視機能の切り替え ～BIOS設定の変更～」(3-2ページ)に継続してセットアップをしてください。CD-ROMなどの媒体を使用する必要はありません。

なお、PP・サポートサービスをご購入のお客様は、PP・サポートサービスのWebページにおいて、最新のft制御ソフトウェアを確認し、本体に添付されているEXPRESSBUILDER CD-ROMおよびft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROMのバージョンが古い場合には、以下の手順によるセットアップ後、Webページに掲載されているアップデート手順に従ってシステムのアップデートを実施してください。



- ここで示す方法以外のセットアップでは、Express5800/ftサーバを正しくセットアップすることができません。
- セットアップ作業中は、CPUモジュールステータスランプ1、およびPCIモジュールステータスランプ1ランプが赤色に点灯しますが、モジュールの故障ではありません。セットアップ作業が完了し、各モジュールが正常に二重化された時点で、CPUモジュールステータスランプ1とPCIモジュールステータスランプ1ランプは消灯し、CPUモジュールステータスランプ2とPCIモジュールステータスランプ2ランプは緑色に点灯します。各モジュールのランプの表示状態の詳細については、別冊のユーザーズガイドの「ランプ」(2-14ページ)を参照してください。
- Express5800/ftサーバ Windows Server 2003 Enterprise EditionではLANの二重化が行われていないため、LANの二重化設定が必要です。手順7で必ず設定を行ってください。

1. 「起動監視機能の切り替え ～BIOS設定の変更～」(3-2ページ)の手順で再起動後、そのままWindowsを起動する。
[Windows セットアップウィザードの開始]画面が表示されます。
2. [次へ]をクリックする。
[使用許諾契約]画面が表示されます。
3. [同意します]にチェックをして、[次へ]をクリックする。
以降、ユーザー名などの設定画面が次々と表示されます。
4. 画面の指示に従って必要な設定をする。
セットアップの終了を知らせる画面が表示されます。
5. [完了]をクリックする。
Express5800/ftサーバが再起動します。
6. 再起動後、Administratorのユーザー名でログオンする。
7. LANの二重化設定を行う。
「LANの二重化を設定する」(3-31ページ)を参照して設定を行ってください。

8. 各種オプション装置の接続・設定を行う。

「ビルド・トゥ・オーダー」以外で購入されたオプションのPCIボードおよび周辺装置がある場合は、本体の電源をOFFにし、別冊のユーザーズガイドの「PCIボード」および装置の取扱説明書に従って接続してください。LANおよびディスクを増設した場合は、二重化設定を行います。詳しい手順については「LANの二重化を設定する」(3-31ページ)および「ディスクの二重化を設定する」(3-33ページ)を参照してください。

9. 106キーボードの設定を行う。

SSU(サーバスイッチユニット)経由で106キーボードを接続している場合、「106キーボード設定する」(3-30ページ)を行ってください。

以上でセットアップは終了です。

再セットアップをする際には、「Windows Server 2003のインストール」(3-9ページ)を参照してください。

Windows Server 2003のインストール

EXPRESSBUILDERを使ってExpress5800/ftサーバをセットアップします。



- Express5800/ftサーバは精密機器です。ftサーバセットアップはできるだけ専門的な知識を持った保守サービス会社の保守員に依頼してください。
- Express5800/ftサーバを購入後、初めて電源を入れる場合には、「初めて電源をONにするときのセットアップ」(3-7ページ)を参照し、セットアップしてください。ftサーバセットアップは、再インストールする場合の手順です。

「ftサーバセットアップ」とは、添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMから起動したときに表示されるメニューの「セットアップ」の項目を選択することで実行され、ハードウェアの内部的なパラメータや状態の設定からOS (Windows)、各種ユーティリティのインストールまでを自動でセットアップするExpress5800/ftサーバシリーズ独自のセットアッププログラムです。

ハードディスクを購入時の状態と異なるパーティション設定で使用する場合やOSを再インストールする場合は、ftサーバセットアップを使用してください。煩雑なセットアップをこのプログラムが代わって行います。

PP・サポートサービスご購入のお客様は、再インストールを行う前にPP・サポートサービスのWebページにおいて最新のft制御ソフトウェアを確認し、最新バージョンのソフトウェアをインストールしてください。

OSのインストールについて

OSのインストールを始める前にここで説明する注意事項をよく読んでください。

本装置がサポートしているOSについて

Express5800/ftサーバがサポートしているOSはMicrosoft® Windows® Server 2003 Enterprise Edition 日本語版です。以降、「Windows Server 2003」と呼びます。

Express5800/ftサーバはWindows Server 2003 Standard EditionやWindows 2000 Server、Windows NT 4.0など、上記以外のオペレーティングシステムをサポートしていません。

Windows Server 2003について

Windows Server 2003は、ftサーバセットアップでインストールできます。ただし、次の点について注意してください。



- インストールを始める前にDIMMの増設やExpress5800/ftサーバ本体のセットアップ(BIOSの設定)をすべて完了させてください。
- NECが提供している別売のソフトウェアパッケージにも、インストールに関する説明書が添付されていますが、本装置へのインストールについては、本書の説明を参照してください。
- ftサーバセットアップを完了した後に4章「インストール完了後の作業」を参照して「メモリダンプ(デバック情報)の設定」などの障害処理のための設定をしてください。

作成するパーティションサイズについて

システムをインストールするパーティションの必要最小限のサイズは、次の計算式から求めることができます。

$$\begin{aligned} \text{インストールに必要なサイズ} + \text{ページングファイルサイズ} + \text{ダンプファイルサイズ} \\ \text{インストールに必要なサイズ} &= 2900\text{MB} \\ \text{ページングファイルサイズ(推奨)} &= \text{搭載メモリサイズ} \times 1.5 \\ \text{ダンプファイルサイズ} &= \text{搭載メモリサイズ} + 12\text{MB} \end{aligned}$$



- 上記ページングファイルサイズはデバッグ情報(メモリダンプ)採取のために必要なサイズです。ページングファイルサイズの初期サイズを「推奨」値未満に設定すると正確なデバッグ情報(メモリダンプ)を採取できない場合があります。
- 1つのパーティションに設定できるページングファイルサイズは最大で4095MBです。搭載メモリサイズ×1.5倍のサイズが4095MBを超える場合は、4095MBで設定してください。
- 搭載メモリサイズが2GB以上の場合のダンプファイルサイズの最大は、「2048MB+12MB」です。



搭載メモリサイズは、CPUモジュール1つに実装されている合計サイズです。

例えば、搭載メモリサイズが512MBの場合、必要最小限のパーティションサイズは、上記の計算方法から

$$2900\text{MB} + (512\text{MB} \times 1.5) + (512\text{MB} + 12\text{MB}) = 4192\text{MB}$$

となります。



ftサーバセットアップでインストールする場合には、自動インストールの動作のため、3072MB以上のパーティションサイズが必要となります。3072MB以上のパーティションを作成してください。

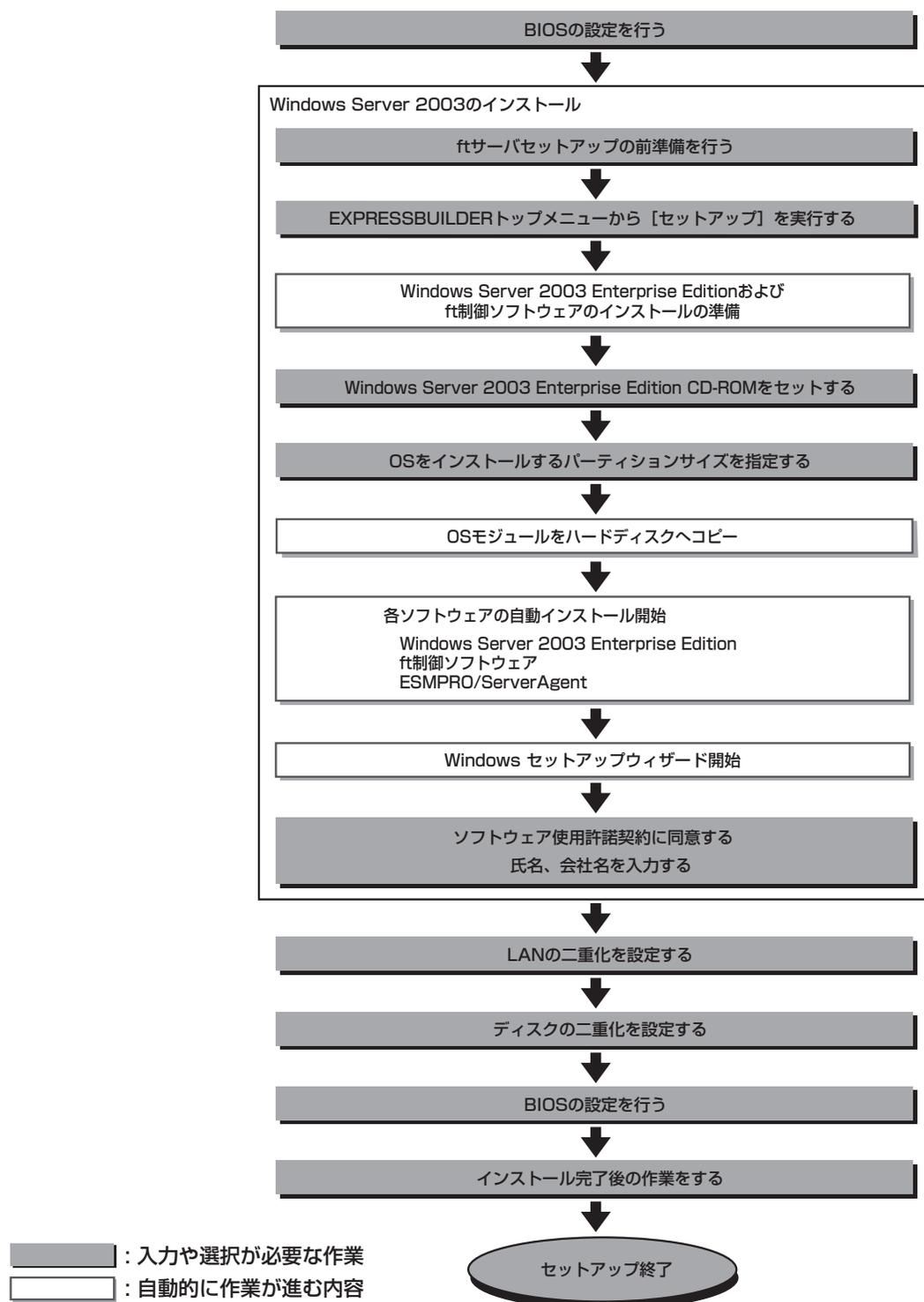
各種ユーティリティの自動インストールについて

ftサーバセットアップは以下のユーティリティのインストールを自動で行います。

- ESM/PRO/ServerAgent

ftサーバセットアップの流れ

ftサーバセットアップで行うセットアップの流れを図に示します。



Windows Server 2003のインストール

次にftサーバセットアップを使ったセットアップの手順を説明します。



Express5800/ftサーバにお客様の判断でサービスパックを適用しないでください。サービスパックを適用したい場合は、PP・サポートサービスをご購入のお客様は、PP・サポートサービスのWebページで適用状況を確認し、ftサーバにサービスパックを適用してください。



PP・サポートサービスをご購入のお客様は、最新のサービスパックへの対応状況をPP・サポートサービスのWebページから確認することができます。

Windows Server 2003のインストールには、以下のものがが必要です。

- 「EXPRESSBUILDER」CD-ROM
- ft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROM
本CD-ROMは、ft制御ソフトウェアを最新にアップデートするものであり、装置に添付されていない場合もあります(装置出荷時点で「EXPRESSBUILDER」CD-ROMに含まれるソフトウェアが最新の場合には添付されません)。
- Microsoft Windows Server 2003 Enterprise Edition 日本語版 CD-ROM
- ユーザーズガイド(本書)



PP・サポートサービスをご購入のお客様は、最新のft制御ソフトウェアのリリース状況を確認し、最新バージョンのft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROMを利用してください。

ftサーバセットアップの前準備

ftサーバセットアップ開始前に、以下の3つの前準備を行ってください。前準備を行わない場合、セットアップが正しく行われません。

- ハードディスクの初期化
- Disk増設ユニットへのセットアップ準備
- Express5800/ftサーバ本体の準備

ハードディスクの初期化

使用済みハードディスクを利用してftサーバセットアップを行う場合、以下のディスクを初期化してください。

- PCIモジュール(グループ1用)のスロット1に搭載するディスク
- PCIモジュール(グループ2用)のスロット1に搭載するディスク

Disk増設ユニットへセットアップする場合は、以下のディスクを初期化してください。

- Disk増設ユニットのスロット1に搭載するディスク
- Disk増設ユニットのスロット8に搭載するディスク

ハードディスク初期化手順

1. ROM-DOS起動ディスクを作成する。

ROM-DOS起動ディスクの作成についてはユーザズガイド(本編)の「EXPRESSBUILDER」-「EXPRESSBUILDERトップメニュー」-「ツールメニュー」の「ROM-DOS起動ディスク」を参照して作成してください。

2. 初期化を行うディスクのみをスロットにセットする。

重要

ハードディスクの初期化を行う場合、ハードディスクはPCIモジュール(グループ1用)のスロット1にセットしてください。

3. ROM-DOS起動ディスクをフロッピーディスクドライブに差し込んでマシンを起動する。
4. ROM-DOSが起動され、しばらくして「A:¥」とプロンプトが表示されたら、FDISKコマンドを実行する。
5. 「Do you wish to enable large disk support?[Y]:」と表示されたら、<Y>キーを押す。
6. <A>キーを押し、パーティションをすべて削除する。(A:Delete all partitions)
7. 「Warning!All data on fixed disk 1 will be lost!Are you sure you want to delete?[N]:」と表示されたら、<Y>キーを押す。
8. 「Press Esc to return to menu:」と表示されたら、<ESC>キーを押す。
9. <S>キーを押して、変更を保存する。(S:Save changes (and reboot))

10. 「Changes saved. Press any key to reboot./」と表示されたら、何かキーを押す。
11. 再起動が開始されたら、フロッピーディスクドライブからROM-DOS起動ディスクを抜き出し、電源をOFFにする。

これで、ハードディスクの初期化は完了です。続けて、次ページの前準備を行ってください。

Disk増設ユニットへのセットアップ準備

オプション製品のDisk増設ユニットがある場合には、Disk増設ユニットに実装されたハードディスクにOSをインストールすることができます。Disk増設ユニットに実装されたハードディスクへOSをインストールする場合には、以下の準備作業を行ってください。



Disk増設ユニットに実装されたハードディスクへOSをインストールしない場合には、Disk増設ユニットおよびSCSIコントローラを取り外した後、OSのインストールを行ってください。Disk増設ユニットおよびSCSIコントローラは、OSのインストールが完了後に実装してください。

1. Disk増設ユニット向けPCIボード(SCSIコントローラ)を実装する。
SCSIコントローラは、PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)に実装します。



拡張PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)に実装した場合、OSのセットアップはできません。

2. Disk増設ユニットをSCSIコントローラに接続する。
接続方法の詳細については、Disk増設ユニットおよびSCSIコントローラに添付されている取扱説明書を参照してください。
3. Disk増設ユニットにハードディスクをセットする。
Disk増設ユニットのスロット1にハードディスクを1台のみセットします。



ハードディスクが複数台セットされている場合には、インストール先とするディスクを特定できません。

Disk増設ユニットへのインストール作業中の注意事項

- インストール時に以下のメッセージが表示されますが、Disk増設ユニットへセットアップしている場合には、Disk増設ユニット向けPCIボード(SCSIコントローラ)は、実装された状態で問題ありません。

***** 重要：確認1 *****

- オプションのPCIボードは取り外していますか？
取り外していない場合はftサーバセットアップを中断し、
オプションのPCIボードをすべて取り外してから
再度インストールをやり直してください。
(注)オプションのPCIボードが実装されている場合、
セットアップが正常に完了しません。

インストールを中断しますか？[Y,N]?

- インストール時に以下のメッセージが表示されますが、Disk増設ユニットへセットアップしている場合には、ハードディスクをDisk増設ユニットのスロット1に1台のみ搭載した状態でインストール処理を実施してください。

***** 重要：確認2 *****

- ハードディスクはPCIモジュール（グループ1）スロットに1台のみ
セットしていますか？
ハードディスクが2台以上セットされている場合はftサーバセットアップを
中断し、PCIモジュール（グループ1）スロット1以外のハードディスクを
すべて取り外してから再度インストールをやり直してください。
(注)ハードディスクが複数台セットされている場合には、インストール先
とするディスクを特定できません。

インストールを中断しますか？[Y,N]?

Express5800/ftサーバ本体の準備

Express5800/ftサーバの電源がOFFの状態、以下の前準備を行ってください。

1. Express5800/ftサーバの準備を行う。

次に示す条件に応じて準備を行ってください。

<本体装置実装ハードディスクにOSをインストールする場合(標準構成)>

- PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)、CPUモジュール(グループ1用/グループ2用)、拡張PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)をすべて実装する。
- LANケーブルをすべて取り外す。
- オプションのPCIボードをすべて取り外す。
- ハードディスクはPCIモジュール(グループ1用)の-slot1に1台のみ搭載する。

<Disk増設ユニット実装ハードディスクにOSをインストールする場合>

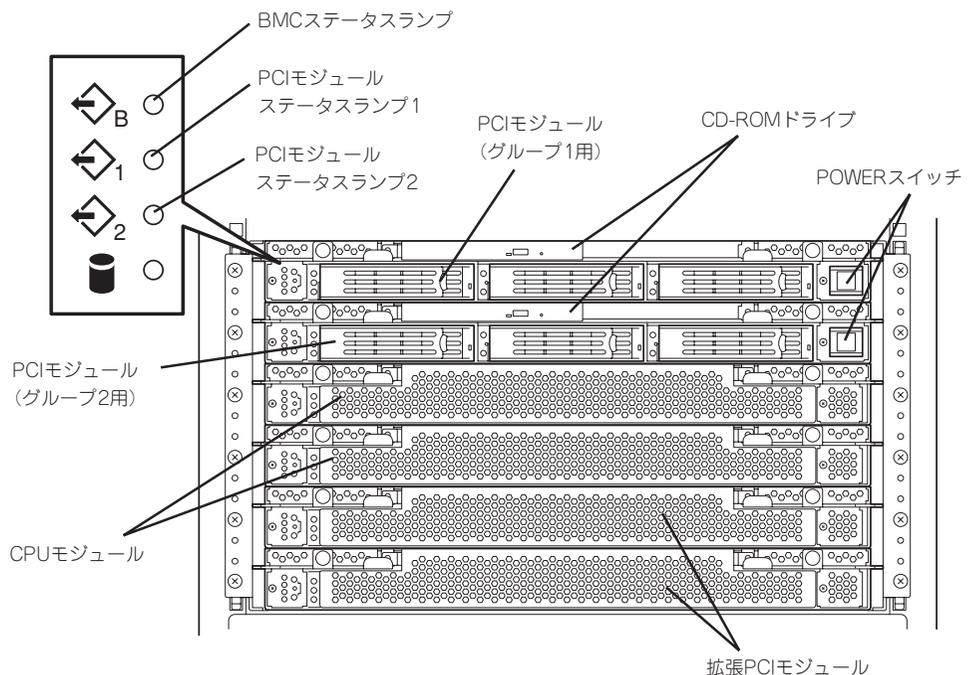
- PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)、CPUモジュール(グループ1用/グループ2用)、拡張PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)をすべて実装する。
- LANケーブルをすべて取り外す。
- Disk増設ユニット用PCIボード(SCSIコントローラ)以外のオプションのPCIボードをすべて取り外す。
- ハードディスクはDisk増設ユニットの-slot1に1台のみ搭載する。

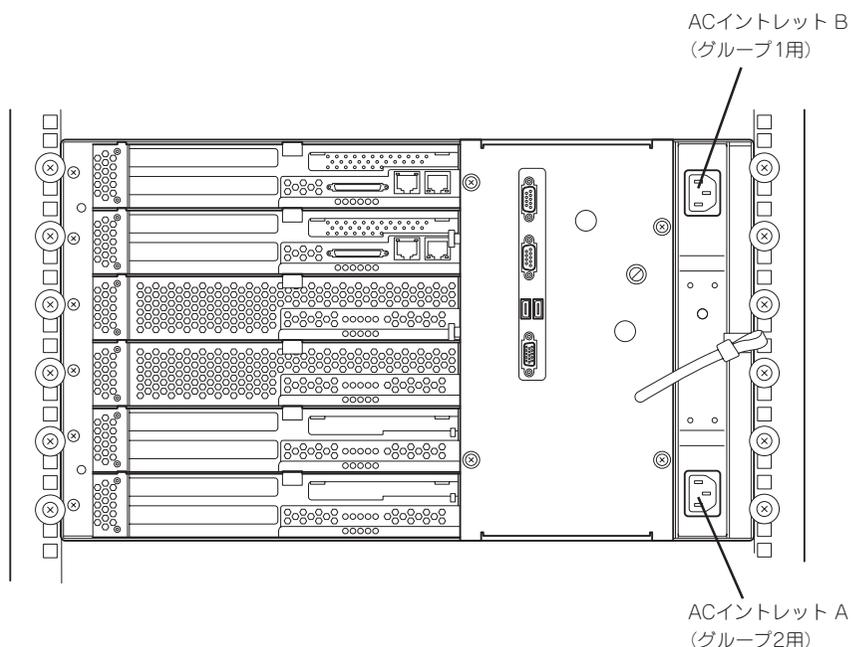
重要

指定のslot以外には、すべてのモジュールのすべてのslotに1台もハードディスクを搭載しないでください。ハードディスクが複数台セットされている場合には、インストール先とするディスクを特定できません。

2. PCIモジュール(グループ1用)をプライマリにする。

作業や確認に必要な部品の位置は次のとおりです。





<AC電源がOFFの場合>(電源コードがコンセントに接続されていない場合)

以下の順番でExpress5800/ftサーバに電源コードを接続してください。

- (1) ACインレットB(グループ1用)に電源コードを接続する。
- (2) ACインレットA(グループ2用)に電源コードを接続する。
- (3) PCIモジュール(グループ1用)のPOWERスイッチが点灯することを確認する。
- (4) PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)の2つのBMCステータスランプが消灯していることを確認する。

重要

BMCステータスランプが「赤色点滅中」の場合は、ftサーバセットアップを開始しないでください。セットアップが正しく行われぬおそれがあります。

以上で、前準備は完了です。続いてftサーバセットアップを開始してください。

<AC電源がONの場合>(電源コードがコンセントに接続されており、本体のPOWERがOFFの場合)

- (1) PCIモジュールのPOWERスイッチのランプを確認する。
 - PCIモジュール(グループ1用)のPOWERスイッチが点灯している場合
PCIモジュール(グループ1用)がプライマリになっています。前準備は完了です。続いてftサーバセットアップを開始してください。
 - PCIモジュール(グループ2用)のPOWERスイッチが点灯している場合
PCIモジュール(グループ1用)がセカンダリになっています。(2)以降の操作を行い、PCIモジュール(グループ1用)をプライマリにしてください。

- (2) PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)の2つのBMCステータスランプが「消灯」していることを確認する。

重要

BMCステータスランプが「赤色点滅中」の場合は、(3)以降の操作は行わないでください。BMCファームウェアが破壊されるおそれがあります。

- (3) ACインレットA(グループ2用)の電源コードを抜く。
- (4) PCIモジュール(グループ1用)のPOWERスイッチが点灯することを確認する。
- (5) ACインレットA(グループ2用)の電源コードを接続する。
- (6) PCIモジュール(グループ1用/グループ2用)の2つのBMCステータスランプが消灯していることを確認する。

重要

BMCステータスランプが「赤色点滅中」の場合は、ftサーバセットアップを開始しないでください。セットアップが正しく行われずおそれがあります。

以上で前準備は完了です。続いてftサーバセットアップを開始してください。

ftサーバセットアップの開始

以下の手順に従って、ftサーバセットアップを行ってください。



「起動監視機能の切り替え ～BIOS設定の変更～」(3-2ページ)の設定を行わない場合、Windowsのセットアップ画面表示中に強制的に再起動され、セットアップが正しく行われません。強制再起動後にWindowsのセットアップを不正に繰り返す場合があります。Windowsのセットアップ画面表示中に強制的に再起動された場合には、セットアップ手順を始めからやり直す必要があります。

1. 周辺装置、Express5800/ftサーバの順に電源をONにする。
2. Express5800/ftサーバのCD-ROMドライブにEXPRESSBUILDERと印刷されたCD-ROMをセットする。

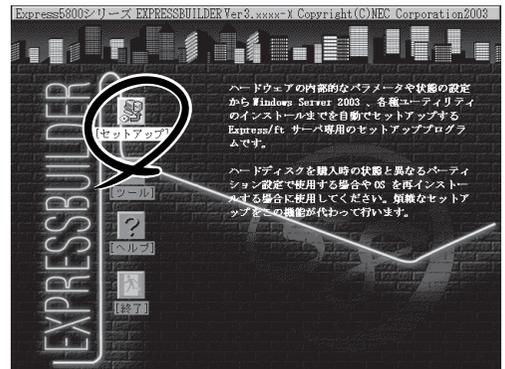


ftサーバセットアップではCD-ROMはPCIモジュール(グループ1用)のCD-ROMドライブにセットしてください。

3. CD-ROMをセットしたら、リセットする(<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押す)か、電源をOFF/ONしてExpress5800/ftサーバを再起動する。

CD-ROMからシステムが立ち上がり、EXPRESSBUILDERが起動し、「EXPRESSBUILDER トップメニュー」が表示されます。

4. [セットアップ]をクリックする。



5. 次のメッセージが表示されたら、[確認]をクリックする。

お願い

シームレスセットアップ終了後、セットアップ情報をバックアップすることをお勧めします。バックアップ情報が無いときは、修理復旧時にお客様の装置固有の情報や設定を復旧できなくなります。バックアップは、空きフロッピーディスクを1枚準備して、ツールでオフライン保守ユーティリティの「システム情報の管理」から「退避」を選択してください。

[確認]

6. 次のメッセージが表示されたら内容を読み、<Enter>キーを押す。

このプログラムはシステムドライブのすべてのファイルを削除し、
Windows Server 2003 を再インストールします。
その後、Express5800/ftサーバに適切なソフトウェアをインストールします。

注意 - BIOSの「Boot Monitoring」の設定を「Disable」に変更してください。
詳しくはユーザーズガイドを参照ください。

注意 - このプログラムはシステムをリブートします。
CD-ROMはドライブに残してください。

警告 - 実行する前に、システムドライブのすべてのデータのバックアップを
とってください。

続けるなら、「Enter」 中止するなら「CTRL-C」を押してください。

次のメッセージが表示され、ディスクが初期化されます。次のメッセージが表示されている間は
ディスクの初期化が行われています。しばらくお待ちください。

Express5800/ft サーバ クリアインストールを開始しました。
ディスクを初期化しています・・・

ディスクの初期化完了後、Express5800/ftサーバは自動で再起動します。再起動後、次のメッ
セージが表示され、ハードディスクドライブのフォーマットが始まります。



チェック

画面に一瞬、「一旦リブートを行います。」と表示されますが、サーバは自動で再起動しますの
で、何も操作せず、そのままお待ちください。

SW インストール 継続中・・・

ドライブをフォーマットしています・・・
FOTMAT v7.10 (Revision4.11.1364)
Copyright(c) 1989 2002 Datalight, Inc.

Formatting 3.07G
XX percent complete.

ハードディスクドライブのフォーマット完了後、CD-ROMからExpress5800/ftサーバシステムソフトウェアをシステムドライブへコピーするメッセージが表示されます。

コピーが完了するまで5分ほどお待ちください。

```
Copyright(c) 1989 2002 Datalight Inc

Formatting 3.07G
100 percent complete
Writing out file allocation table
Complete.
Calculating free space (this may take several minutes) . .
Complete.
Format complete.
System transferred

      3,068.90 MB total disk space
      114,688 bytes used by system
      3,068.79 MB available on disk

      4,096 bytes in each allocation unit.
      785,606 allocation units available on disk.

Volume Serial Number is XXXX-XXXX

CD-ROM から Express5800/ft サーバ システムソフトウェアをシステムドライブへ
コピーしています・・・5分ほどお待ちください
```

7. コピー完了後、次のメッセージが表示されるので、CD-ROMを取り出して<Enter>キーを押す。自動的に再起動されます。

```
Express 5800/ft サーバ ソフトウェアがコピーされました。

CD-ROM を抜いて、Enter キーを押下して終了してください。
ハードディスクから再起動されます。
```

重要

再起動前に必ずCD-ROMドライブからCD-ROMを抜いてください。CD-ROMを挿入したまま再起動が開始されると、CD-ROMからシステムが立ち上がり、EXPRESSBUILDERが起動されます。

8. 再起動後、次のメッセージが表示されるので、以下のように操作する。

```
ft制御ソフトウェア UPDATE CD-ROMを利用する場合は、CD-ROMを挿入してください。

ft制御ソフトウェア UPDATE CD-ROMを利用しますか？[Y,N]?
```

- お手元に「ft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROM」がある場合
「Y」を入力してください。
- お手元に「ft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROM」がなく「EXPRESSBUILDER」のみでインストールを行う場合
「N」を入力してください。

9. 「ft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROM」の利用可否を再確認するメッセージが表示されるので、選択が正しい場合は「Y」、間違っている場合は「N」を入力する。

ft 制御ソフトウェア UPDATE CD-ROM を利用します。よろしいですか?[Y/N]?

または

ft 制御ソフトウェア UPDATE CD-ROM を利用しません。よろしいですか?[Y/N]?

10. 「ft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROM」の利用を選択した場合、次のメッセージが表示されるので「ft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入し、<Enter>キーを押す。

ft 制御ソフトウェア UPDATE CD-ROM を利用する場合は、CD-ROM を挿入してください。

ft 制御ソフトウェア UPDATE CD-ROM を利用しますか?[Y,N]?Y

ft 制御ソフトウェア UPDATE CD-ROM を利用します。よろしいですか?[Y/N]?Y

ft 制御ソフトウェア UPDATE CD-ROM を挿入し、Enter キーを押下してください。

11. 「重要：確認1」メッセージが表示されるので、内容を読み、画面の指示に従って操作する。



ヒント

Disk増設ユニットへセットアップしている場合には、Disk増設ユニット向けPCIボード(SCSIコントローラ)は、実装された状態で問題ありません。

*** 重要：確認1 ***

- オプションのPCI ボードは取り外していますか？
取り外していない場合はftサーバセットアップを中断し、
オプションのPCI ボードをすべて取り外してから
再度インストールをやり直してください。
(注)オプションのPCI ボードが実装されている場合、
セットアップが正常に完了しません。

インストールを中断しますか？[Y,N]?

12. 「重要：確認2」メッセージが表示されるので、内容を読み、画面の指示に従って操作する。



ヒント

Disk増設ユニットへセットアップしている場合には、ハードディスクをDisk増設ユニットの
スロット1に1台のみ搭載してください。

*** 重要：確認2 ***

- ハードディスクはPCI モジュール (グループ1) スロット1に1台のみ
セットしていますか？
ハードディスクが2台以上セットされている場合はftサーバセットアップを
中断し、PCI モジュール (グループ1) スロット1以外のハードディスクを
すべて取り外してから再度インストールをやり直してください。
(注)ハードディスクが複数台セットされている場合には、インストール先
とするディスクを特定できません。

インストールを中断しますか？[Y,N]?

13. 「重要：確認3」メッセージが表示されるので、内容を読み、画面の指示に従って操作する。

*** 重要：確認3 ***
- PCI、CPU モジュールはすべて実装されていますか？
実装されていない PCI、CPU モジュールがある場合には、
すべてのモジュールを実装してください。
すべてのモジュール実装後、何かキーを押してインストールを
継続してください。

Strike a key when ready . . .

14. 「重要：確認4」メッセージが表示されるので、内容を読み、画面の指示に従って操作する。

*** 重要：確認4 ***
- LAN ケーブルは本体より取り外していますか？
接続されている場合はケーブルを取り外してください。
取り外し後、何かキーを押してインストールを継続してください。

Strike a key when ready . . .

15. 「ft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROM」の利用を選択した場合、次のメッセージが表示されるので、コピーが完了するまで3分ほど待つ。

CD-ROM から Express5800/ft サーバ システムソフトウェアをシステムドライブへ
コピーしています . . . 3 分ほどお待ちください



Express 5800/ft サーバ ソフトウェアがコピーされました。

重要

「ft制御ソフトウェアUPDATE CD-ROM」の利用を選択しなかった場合、上記のメッセージは表示されません。手順16へ進んでください。

16. Windows 2003 CD-ROMを要求するメッセージが表示されるので、画面の指示に従って Windows 2003 Enterprise Edition CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。

Windows Server 2003のCD-ROMを差し込んでください。

Strike a key when ready...

17. OSをインストールするパーティションサイズの入力メッセージが表示されるので、OSをインストールするパーティションサイズを入力して、<Enter>キーを押す。

重要

前述の「作成するパーティションサイズについて」を参照し、必ず必要最小限以上のパーティションサイズを指定してください。必要最小限未満のパーティションサイズを指定した場合は、インストールに失敗することがあります。

作成するシステムパーティションサイズを半角数字で入力してください。
注1：設定できる最小のパーティションサイズは3072メガバイトです。
1ギガバイトは1024メガバイトです。
注2：設定したサイズが実際のHDDの容量より大きい場合は、
パーティションサイズはディスク全体になります。
注3：ディスク全体をシステムパーティションにする場合は、
ALLと入力してください。

サイズ? (単位：メガバイト)

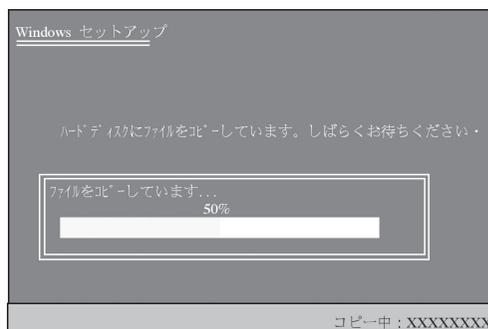
18. OSをインストールするパーティションサイズの入力確認メッセージが表示されるので、正しい場合は[Y]、間違っている場合は[N]を入力して、<Enter>キーを押す。

入力されたシステムパーティションサイズはXXXXです。
よろしいですか？ (Y/N)

19. 次のメッセージが表示される。

システムドライブにWindows Server 2003をコピーしています・・・
20分程お待ちください

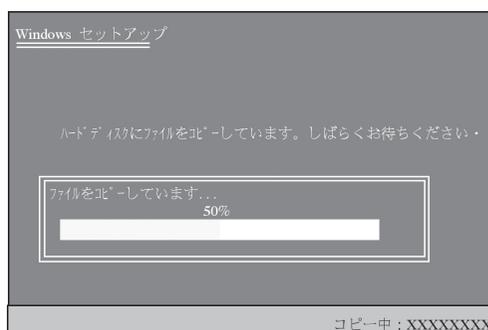
コピー完了後、Windows Server 2003のインストールが自動的に開始されます。



重要

- 自動インストール中(手順20～30)は、インストール進行状況をメッセージ表示するウィンドウと各アプリケーションのインストールウィザードが表示されますが、インストールは自動的に行われます。手順31のセットアップウィザードの開始画面が表示されるまで何も操作しないでください。
- 自動インストール中(手順20～30)、Express5800/ftサーバは、[Windowsセットアップウィザードの開始]画面が表示されるまで、セットアップのために何度か自動的に再起動を行います。

20. 自動的に再起動されるので、何も操作せず、そのまま待つ。



重要

- 再起動時、「Press any key to boot from CD.」が表示されますが何も操作しないでください。
- オペレーティングシステムの選択画面にて「Previous Operating System C:」と表示されることがありますが、絶対に選択しないでください。「Previous Operating System C:」を選択してしまった場合はDOSプロンプトが表示されて処理が停止します。この場合、<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押してシステムを再起動してください。再起動後、インストールが続行されます。

21. 自動的に再起動された後、ファイルシステムがFAT32からNTFSへ変更され、ファイルシステムの変更が自動的に行われるので、何も操作せず、そのまま待つ。
22. 自動的に再起動された後、セットアップの画面が表示され、自動でセットアップが進行されるので、何も操作せず、そのまま待つ。

次のセットアップが自動で進行されます。

[情報を収集しています]→[動的な更新]→[インストールの準備をしています]→[Windowsをインストールしています]→[インストールの最後処理を行っています]

🔑 重要

再起動時、「Press any key to boot from CD.」が表示されますが何も操作しないでください。

23. 自動的に再起動されるので、何も操作せず、そのまま待つ。

🔑 重要

- 再起動時、「Press any key to boot from CD.」が表示されますが何も操作しないでください。
- オペレーティングシステムの選択画面にて「Previous Operating System C:」と表示される場合がありますが、絶対に選択しないでください。「Previous Operating System C:」を選択してしまった場合は黒い画面が表示されて処理が停止します。この場合、<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押してシステムを再起動してください。再起動後、インストールが続行されます。

24. 再起動後、次の画面が表示され、インストールが続行されるので、何も操作せず、そのまま待つ。
システム設定が自動で行われます。

```
Express5800/ft サーバ クリアインストール

** 操作を行わず、しばらくお待ちください。 **
** システムは自動的に再起動されます。 **

システム設定中
約2分後に自動的に再起動を行います。

*** Setting [ft series environment] ***
*** Checking [disk space] ***

10秒後に再起動します。
```

🔑 重要

上記実行中のプログラムは絶対に終了させないでください。ウィンドウを閉じるなどして実行中プログラムを終了させた場合はインストールが中断されます。インストールが中断された場合、Windows上の操作は可能となりますが、各モジュールまたはPCIボードが正しく二重化されません。この場合、始めからftサーバセットアップを実施する必要があります。

25. 自動的に再起動された後、次の画面が表示され、インストールが実行されるので、何も操作せず、そのまま待つ。

Express5800/ftサーバ ソフトウェアのインストールが自動で行われます。

```
Express5800/ft サーバ クリアインストール

** 操作を行わず、しばらくお待ちください。 **
** システムは自動的に再起動されます。 **

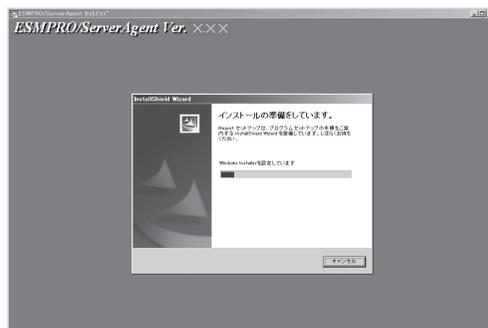
*** Setting [ft series environment (Preparation)] ***
*** Setting [ft series environment (NECHWID)] ***
*** Setting [Timeout for non-communication time] ***
*** Installing [Stratus Big Board Driver] ***
*** Installing [IPMI] ***
*** Installing [PROSET II] ***
*** Installing [SRAPS] ***
*** Installing [mof file] ***
*** Installing [Stratus Debug Print Driver] ***
*** Installing [NEC ESMPRO Agent] ***
```

重要

上記実行中のプログラムは絶対に終了させないでください。ウィンドウを閉じるなどして実行中プログラムを終了させた場合はインストールが中断されます。インストールが中断された場合、Windows上の操作は可能となりますが、各モジュールまたはPCIボードが正しく二重化されません。この場合、始めからftサーバセットアップを実施する必要があります。

26. 次の画面が表示され、ESMPRO / ServerAgentのインストールが開始されるので、何も操作せず、そのまま待つ。

ESMPRO/ServerAgentインストーラが起動し、自動でインストールが行われます。

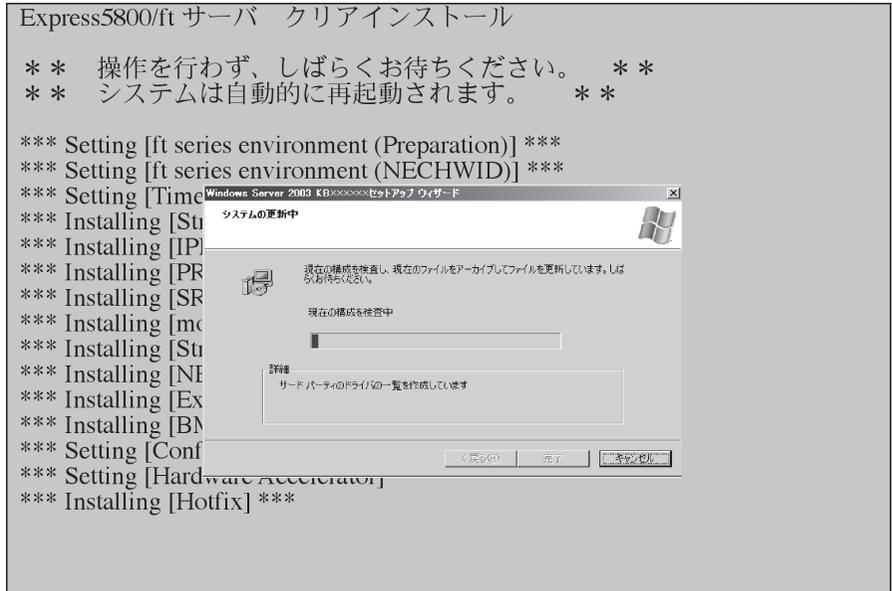


27. 次の画面が表示され、エクスプレス通報サービスのセットアップが開始されるので、何も操作せず、そのまま待つ。

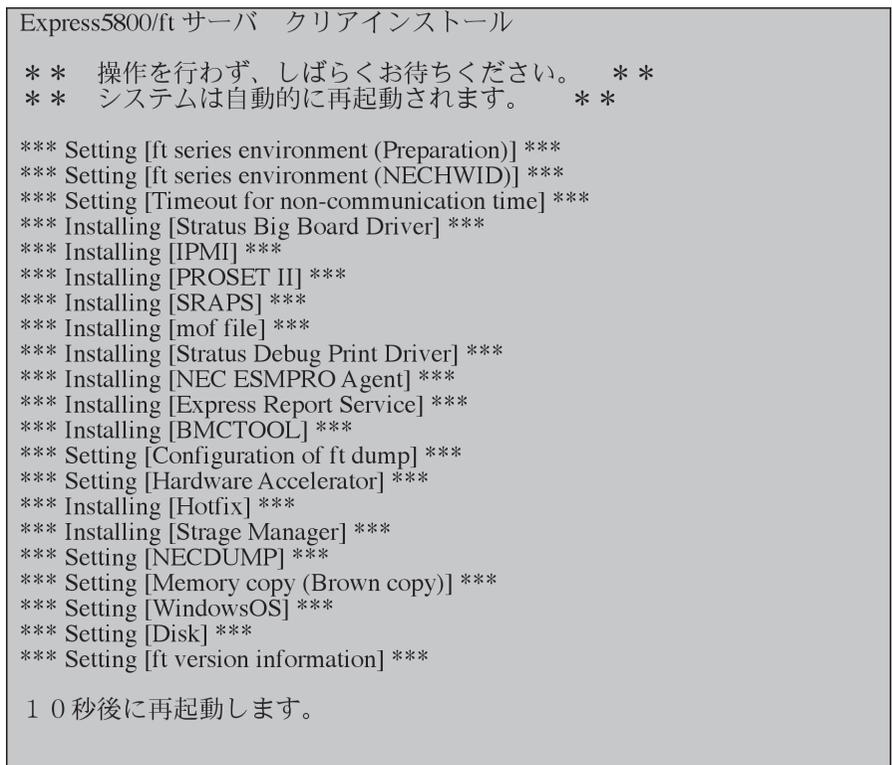
エクスプレス通報サービスSetupウィザードが起動し、自動でインストールが行われます。



28. 次の画面が表示され、HotFixのインストールが開始されるので、何も操作せず、そのまま待つ。
HotFixのインストールウィザードが起動し、自動でインストールが行われます。

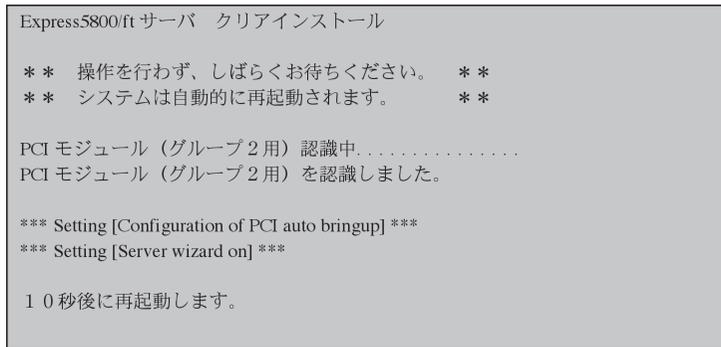


29. HotFixのインストール完了後、インストールが続行されるので、何も操作せず、そのまま待つ。
Express5800/ftサーバ ソフトウェアのインストール完了後、自動で再起動が行われます。



30. 再起動後、次の画面が表示され、インストールが続行されるので、何も操作せず、そのまま待つ。

Express5800/ftサーバの設定を行った後、自動的に再起動されます。



重要

上記実行中のプログラムは絶対に終了させないでください。ウィンドウを閉じるなどして実行中のプログラムを終了させた場合は、インストールが中断されます。インストールが中断された場合、Windows上の操作は可能ですが、各モジュールまたはPCIボードが正しく二重化されません。この場合、始めからftサーバセットアップを実施する必要があります。

31. 自動的に再起動された後、セットアップウィザードの開始画面が表示されるので、[次へ]をクリックする。

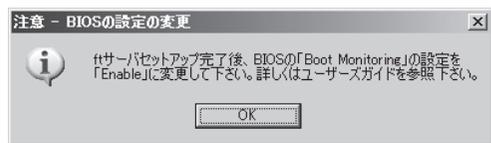
ウィザードに従って操作を行ってください。ウィザードでの操作完了後、自動的に再起動されます。

重要

[ライセンス契約]画面では内容をよく読んでください。同意する場合は、[同意します]をクリックしてから[次へ]をクリックしてください。同意しない場合は、[同意しません]をクリックしてから[次へ]をクリックしてください。ただし、同意しないとセットアップは終了し、Windowsはインストールされません。

32. 再起動後、Administratorのユーザー名でログオンする。

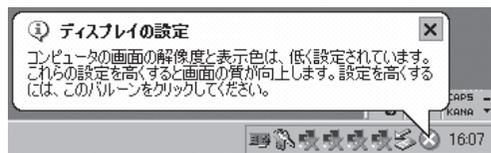
右のダイアログボックスが表示されるので、内容を確認し、[OK]をクリックしてください。



重要

画面右下に[ディスプレイの設定]が表示されていることがあります。この場合、次の[画面の色]設定を「中(16ビット)」以上に変更してください。

[画面のプロパティ]-[設定]タブ-[画面の色]



33. 各種ソフトウェアのアップデートを行う。

「Express5800/ftサーバシリーズ ft制御ソフトウェア (Ver:n.n)UPDATE CD-ROM」を利用してインストールした場合には、CD-ROM内の「ft制御ソフトウェア (Ver:n.n).doc」を参照してすべてのアップデートモジュールを適用してください。ただし、以下については「Express5800/ftサーバシリーズ ft制御ソフトウェア (Ver:n.n)UPDATE CD-ROM」より最新のアップデートモジュールが自動適用されていますので、ここでの個別のアップデートモジュールの適用は不要です。

－ ft制御ソフトウェア (Ver:n.n)アップデートモジュール

ESMPRO/ServerAgentはftサーバセットアップで自動インストールされますが、最新モジュールの適用は行われません。「Express5800/ftサーバシリーズ ft制御ソフトウェア (Ver:n.n)UPDATE CD-ROM」から個別にアップデートモジュールを適用する必要があります。

以上でWindows Server 2003のインストールは完了です。

106キーボード設定する

SSU(サーバスイッチユニット)経由で106キーボードを接続し、システムのインストールを行うと106キーボードが101キーボードとして認識され、システムに登録されます。

そこで、アップデートを行い、101キーボードとして登録されている情報を106キーボードに変更し、SSU経由で106キーボードを使用できるように情報を変更します。



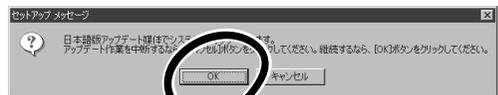
- 再インストールの際にSSU経由で、キーボードを接続していた場合のみ必要となる設定です。その他の場合は設定する必要ありませんので次に進んでください。
- この設定を実行するには、管理者またはAdministratorsグループのメンバとしてログインしなければなりません。

アップデート実行手順を以下に説明します。

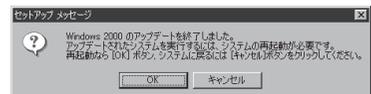
1. 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMまたは「Express5800/ftサーバシリーズ ft制御ソフトウェア UPDATE CD-ROM」に格納されているSsu106¥update.exeを実行する。

セットアップ画面が表示されます。

2. [OK]をクリックする。



アップデートが終了すると、システムの再起動を促すメッセージボックスが表示されます。



他にアップデートを適用する必要がない場合は、[OK]をクリックし、システムの再起動を行ってください。

他にアップデートを適用する必要がある場合は、[キャンセル]をクリックし、アップデートを継続してください。



106キーボードが106キーボードとして認識されている環境ではアップデートは行われず、処理は中断されます。

アップデートでの修正内容は、システムの再起動後に有効となります。

LANの二重化を設定する

Express5800/ftサーバでは、PCIモジュール上に標準で搭載されている「Stratus emb-82559 10/100 Enet Adapter」(100Base)、および「Stratus emb-82544GC Copper Gigabit Adapter」(1000Base)を使用してLANの二重化を構築します。



- 再インストールの際にSSU経由で、キーボードを接続していた場合のみ必要となる設定です。その他の場合は設定する必要がありませんので次に進んでください。
- この設定を実行するには、管理者またはAdministratorsグループのメンバとしてログインしなければなりません。

1. [Intel PROSet II]ダイアログボックスを表示する。
2. 以下のどちらかのスタートメニューモードをそれぞれの手順に従って起動させる。

標準のスタートメニューモード

[スタート]メニューから[コントロールパネル]—[Intel PROSet II]をクリックする。

クラシックスタートメニューモード

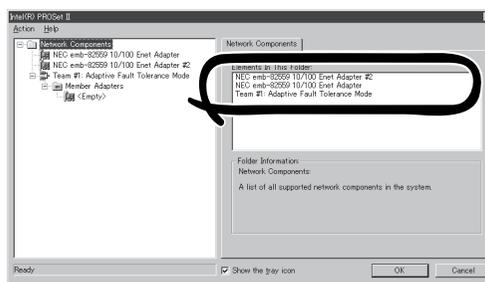
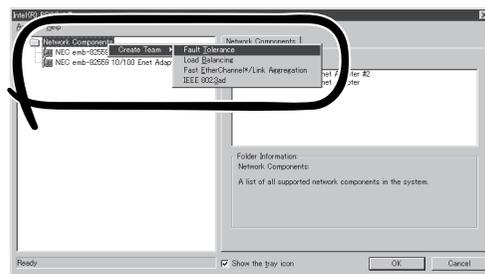
- ① [スタート]メニューから[設定]—[コントロールパネル]をクリックする。
- ② [Intel PROSet II]アイコンをダブルクリックする。

3. NetWork Component Treeから[NetWork Components]を選択してポップアップメニューから[Create Team]—[Fault Tolerance]を選択する。

重要

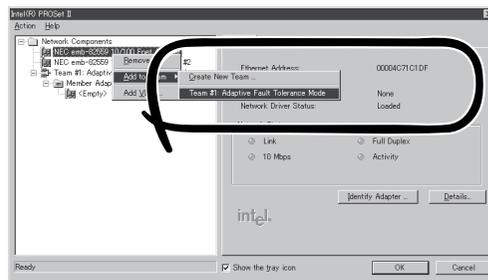
本体標準装備のネットワークでは[Fault Tolerance]以外は選択しないでください。

NetWork Component Treeに[Team #1: Adaptive Fault Tolerance Mode]が追加されます。



4. NetWork Component Treeから [Stratus emb-82559 10/100 Enet Adapter] を選択し、ポップアップメニューを表示させて [Add to team] – [Team #1: Adaptive Fault Tolerance Mode] を選択してアダプタを追加する。

追加後、警告メッセージが表示されますが、問題ありません。そのまま [OK] をクリックしてください (まだ1つしか追加していないために表示されるメッセージです)。



5. 手順4と同じように、NetWork Component Treeから [Stratus emb-82559 10/100 Enet Adapter #2] を選択し、ポップアップメニューを表示させて [Add to team] – [Team #1: Adaptive Fault Tolerance Mode] を選択してアダプタを追加する。

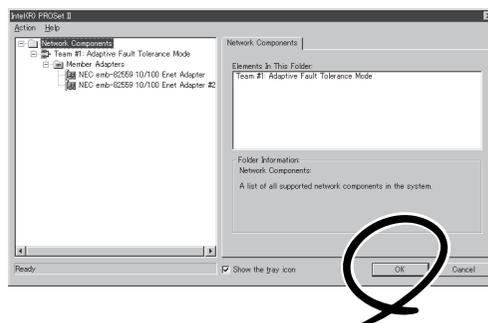
重要

それぞれのアダプタに対し、[Preferred Primary]、[Preferred Secondary]は指定しないでください。

6. 「Stratus emb-82544GC Copper Gigabit Adapter」(1000Base)についても二重化設定を行う。同じように手順3~5を行ってください。その際、[Stratus emb-82559 10/100 Enet Adapter] を「Stratus emb-82544GC Copper Gigabit Adapter」に読み替えて選択してください。
また、手順3で、[Fault Tolerance]だけではなく、[Load Balancing]の設定をすることもできます。その場合は、[Team #X:Adaptive Load Balancing Mode]が追加されます。

7. [OK]をクリックする。

しばらくすると、[Intel(R) PROSet II] ダイアログボックスが閉じ、設定が有効になります。



重要

- [デジタル署名が見つかりませんでした]ダイアログボックスが表示されることがあります。表示された場合は[はい]をクリックしてください(複数回表示されます)。
- 二重化設定を終了後、[ネットワークとダイヤルアップ接続]または[デバイスマネージャ]ダイアログボックスに「Intel(R) Advanced Network Services Virtual Adapter」が表示されるようになります。このアダプタの「状態」を「無効」に設定しないでください。再度、「有効」に戻すと、システムが不安定になり、再起動が必要になる場合があります。
- 二重化設定(Team)した際はハブを使用する必要があります。AFT機能を使用する場合、リピータ・ハブ、スイッチング・ハブのどちらも使用できます。ALB機能を使用する場合は、スイッチング・ハブを使用してください。

ディスクの二重化を設定する

Express5800/ftサーバでは、ディスクのミラーリングによってデータの保全を図ります。必ずディスクの二重化設定をしてください。



この手順を実行するには、管理者またはAdministratorsグループのメンバとしてログインしなければなりません。



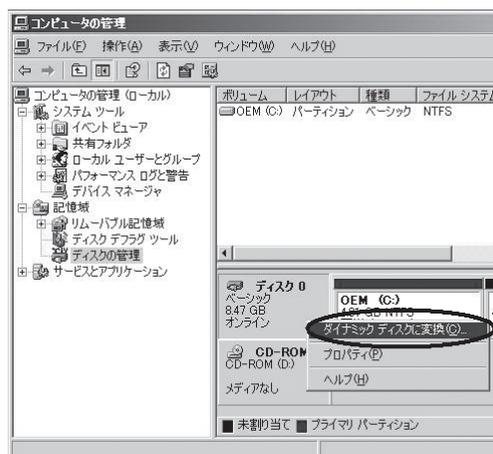
- OSインストール時だけでなく、以降パーティションを作成する際も必ず同様にミラーリングを行ってください。
- ミラーのためのディスクは、必ずシステムパーティションがあるディスクをダイナミックにアップグレード後に対応したスロットにセットしてください。アップグレードする前にディスクはスロットにセットしないでください。
- ミラーを設定するディスクは、ディスクのターゲットIDが同一のもので設定してください。詳細については、別冊のユーザズガイドの「構築可能なディスク構成について」(3-2ページ)を参照してください。

1. [スタート]–[管理ツール]–[コンピュータの管理]をクリックする。

[コンピュータの管理]ダイアログボックスが表示されます。

2. コンソールツリーで[記憶域]配下の[ディスクの管理]をクリックする。

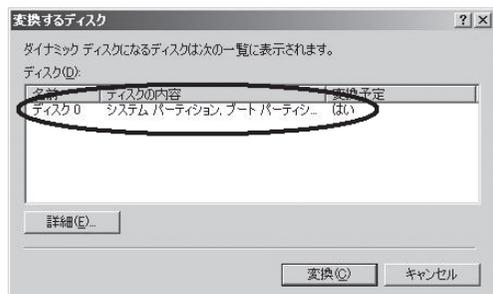
3. 右パネルにハードディスクの一覧を表示させ、システムがインストールされているディスクを右クリックし、[ダイナミックディスクに変換]をクリックする。



4. 変換するディスクがシステムをインストールしたディスクであることを確認し、[変換]をクリックする。

ダイナミックにアップグレードする際、「前のWindowsを起動できない」や「強制的にマウントを解除」のメッセージが表示されますが、[はい]をクリックして、再起動してください。

その場合、複数回再起動を要求された場合は、指示に従って再起動をしてください。



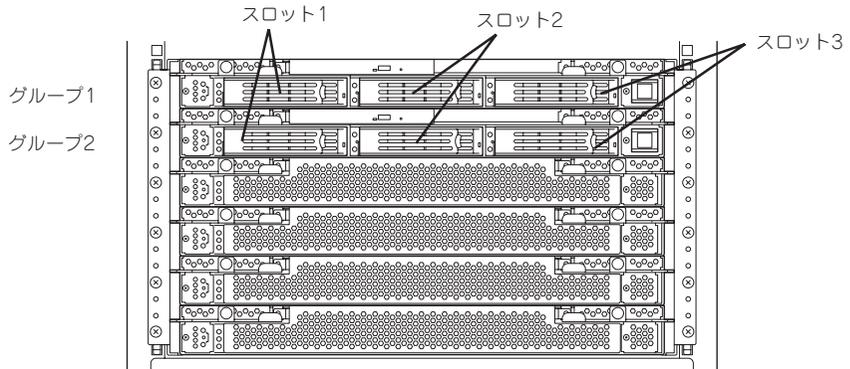
- 再起動後、再び[ディスクの管理]を表示し、ミラーボリュームを作成するためのディスクをセットする。

重要

ディスクのステータスが「初期化していない」の場合には、「初期化していない」ディスクで右クリックして初期化を実施してください。

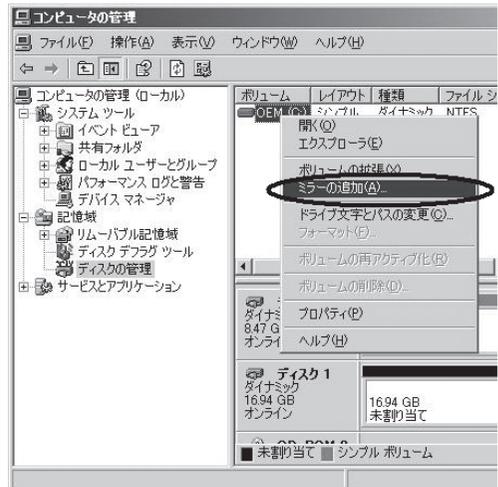
[異形式]と表示された場合は、[ベーシックディスクに戻す]を実行した後、[ダイナミックディスクに変換]を実行してください。

ミラーリングするディスクは必ず対応したスロットにセットする必要があります。詳細については下図を参照してください。



ミラーリング処理に対応するスロット

- セットしたディスクがダイナミックディスクではない場合は、ディスクを右クリックし、「ダイナミックディスクに変換」を実行する。
- ミラーを作成するダイナミックディスクのボリュームを右クリックし、[ミラーの追加]をクリックする。



重要

- [ミラーの追加]をクリックすると、[論理ディスクマネージャ]ダイアログボックスが表示されますが問題ありませんので、[OK]をクリックしてください。
- ミラーの生成中に再起動するとミラーが完了しません。ミラーの処理が完了するまでは再起動しないでください。



ヒント

ミラーの生成には、18GBのハードディスクで約37分かかります。

以降は画面に表示される指示に従って操作してください。

起動監視機能を切り替える

「起動監視機能の切り替え ～BIOS設定の変更～」(3-2ページ)で切り替えた「Boot Monitoring」の設定を有効にします。「起動監視機能の切り替え ～BIOS設定の変更～」(3-2ページ)を参照して「Enabled」に変更してください。

Phoenix BIOS Setup Utility	
Advanced	
Monitoring Configuration	Item Specific Help
Option ROM Scan Monitoring: [Disabled] Option ROM Monitoring Time-out: [5] Boot Monitoring: [Enabled] Boot Monitoring Time-out Period: [8] POST Pause Monitoring: [Enabled] POST Pause Monitoring Time-out: [3]	Option ROM Scan Monitoring features
F1 Help ↑↓ Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults Esc Exit ←→ Select Menu Enter Select ▶ Sub-Menu F10 Save Changes & Exit	

